

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【公表番号】特表2015-534370(P2015-534370A)

【公表日】平成27年11月26日 (2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-074

【出願番号】特願2015-533086(P2015-533086)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月24日 (2016.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラによって、一連の画像を生成することと、
デジタルビデオスタビライザによって、該一連の画像に関連する安定化補正値を算出することと、
動き検出器によって、動きデータを生成することと、
該動きデータを分析することと、
該分析により、該動き検出器によって検出された動きが、雑音閾値を上回ることが示された場合にのみ、該安定化補正値を該一連の画像に適用することと
を含み、
該雑音閾値を算出することが、パーソナル電子デバイスが静止位置にある間に、該動き検出器によって生成された動きデータを測定することを含む、方法。

【請求項 2】

カメラ、携帯電話、携帯情報端末、およびタブレットコンピュータからなる群から選択される、パーソナル電子デバイスにおいて実装される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記動き検出器が、ジャイロスコープ、加速度計、GPS 受信機、および画像センサからなる群から選択される要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

安定化補正値を算出することが、前記一連の画像に含まれる画像間を比較することと、該比較した画像間のピクセルエラー差の合計を最小化することとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記安定化補正値が、線形オフセットおよび回転からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記安定化補正値を適用することが、前記安定化補正値に少なくとも部分的に基づいて、前記一連の画像に含まれる画像を変更することと、該変更された画像をビデオエンコーダに送信することとを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

パーソナル電子デバイスであって、
一連の画像を生成するように構成されたカメラと、
該一連の画像に関連する安定化補正値を算出するように構成されたデジタルビデオスタ
ビライザと、
動きデータを生成するように構成された動き検出器と、
該カメラ、該デジタルビデオスタビライザ、および該動き検出器に動作可能に接続され
たプロセッサであって、該プロセッサは、
該動きデータを分析し、
該分析により、該動き検出器によって検出された動きが雑音閾値を上回っていること
が示される場合にのみ、該安定化補正値を該一連の画像に適用する
ように構成されたプロセッサと
を備え、
該雑音閾値を算出することが、該パーソナル電子デバイスが静止位置にある間に、該動
き検出器によって生成された動きデータを測定することを含む、前記パーソナル電子デバ
イス。

【請求項 8】

カメラ、携帯電話、携帯情報端末、およびタブレットコンピュータからなる群から選択
される、請求項 7 に記載のパーソナル電子デバイス。

【請求項 9】

前記動き検出器が、ジャイロスコープ、加速度計、GPS 受信機、および画像センサか
らなる群から選択される要素を備える、請求項 7 に記載のパーソナル電子デバイス。

【請求項 10】

安定化補正値を算出することが、前記一連の画像に含まれる画像間を比較することと、
該比較した画像間のピクセルエラー差の合計を最小化することとを含む、請求項 7 に記載
のパーソナル電子デバイス。

【請求項 11】

前記安定化補正値が、線形オフセットおよび回転からなる群から選択される、請求項 7
に記載のパーソナル電子デバイス。

【請求項 12】

前記安定化補正値を適用することが、前記安定化補正値に少なくとも部分的に基づいて
、前記一連の画像に含まれる画像を変更することと、該変更された画像をビデオエンコー
ダに送信することとを含む、請求項 7 に記載のパーソナル電子デバイス。

【請求項 13】

動き検出器が静止位置にある間に、生成された動きデータに基づいて雑音閾値を算出す
ることと、

カメラによって、複数の画像をキャプチャすることと、

該カメラのデジタルビデオスタビライザによって、該複数の画像の順次的な画像間のピ
クセル差に基づいて、該複数の画像のそれぞれについてのオフセット値を算出することと
、

該カメラの動き検出器によって、動きデータを生成することと、

該動きデータを該雑音閾値と比較することと、

該動きデータが該雑音閾値を上回ることを決定する際に、該複数の画像および該複数の
画像のそれぞれについてのオフセット値に基づいてビデオを生成することと
を含む、方法。

【請求項 14】

前記動きデータが前記雑音閾値を上回らないことを決定する際に、前記複数の画像に基
づいてビデオを生成することをさらに含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記ビデオを生成することが、前記複数の画像をキャプチャすることと関連した順序に
基づいて、該複数の画像を整理することを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ビデオを生成することが、対応するオフセット値に基づいて、前記複数の画像のそれぞれを変更することを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 17】

前記ビデオを生成することが、対応するオフセット値に基づいて、前記複数の画像のそれぞれを回転することを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 18】

前記ビデオを伝達媒体による通信用にエンコードすることをさらに含む、請求項 13 に記載の方法。